

交通事業者との座談会の実施状況

令和7年11月28日

南 城 市

1 実施概要

- 公共交通計画に交通事業者の意向を反映するため、座談会を開催しています。
- 座談会は、3回の開催を予定しており、これまでに2回実施しています。
- 次回は、ワークショップ終了後の1月下旬から2月上旬での開催を予定しています。

表 1 座談会の開催状況

回数	開催日時	主な議題
第1回	令和7年7月9日(水) 15:00~17:00	<ul style="list-style-type: none">・南城市地域公共交通計画策定について・南城市におけるこれまでの公共交通に関する取組について・南城市の公共交通の現状と課題について
第2回	令和7年10月10日(金) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none">・南城市の公共交通のSWOT分析・南城市の公共交通の今後の方向性 ※ワークショップ形式で実施
第3回	令和8年1月下旬~2月上旬	<ul style="list-style-type: none">・地域交通計画の施策概要について・計画の推進体制(マネジメント・モニタリングチーム)について・次年度の取組について

2 座談会の実施概要

2.1 第 1 回座談会

- 第 1 回座談会は、資料説明のあと、これまでの取組に対する意見や、課題について意見をいただきました。

【第 1 回座談会での主な意見】

- 南部東道路やつきしろのまちづくり計画と交通計画が連動しており、行政に明確な方向性を示してもらえれば、事業者は安心して動きやすい。
- 南城市の中核地に拠点を設け、バスターミナルや営業所を構えることができると、事業者は、ある程度の便を優先させやすく本数も増やせる。
- 近くにコンビニなどがあり乗降の多いバス停を整理し、自家用車等から乗り降りできるように整備すると、路線バスや N バスに乗り継ぎしやすく、利用が多くなるのではないかと。
- N バスは高齢者無料で高校生以下は 80 円の低料金だが、料金の見直しを検討しても良いのではないかと。
- 南城市の人口は増加傾向にあるので、まちづくりや公共交通に力を入れて、利用者の拡大や定時性確保につながると良い。

2.2 第2回座談会

- 第2回座談会は、ワークショップ形式で、南城市の公共交通のSWOT分析（強み、弱み、機会、脅威の整理）と、今後の方向性について意見をいただきました。
- 強みとしては、路線バスとNバスの役割分担された交通網、人口増加や、タクシー事業者の存在などがあげられました。
- 弱みとしては、交通結節点となっている市役所周辺に目的地がない、レンタカーの増加、市民の集まる場の欠如、乗務員不足などがあげられました。
- 機会としては、コストコ周辺の開発、市役所横での複合施設の整備、外国人観光客の増加などがあげられました。
- 脅威としては、周辺市町村でのバスターミナルの整備、タクシーの那覇への流出、運転手不足などがあげられました。

<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスとNバスの役割分担された交通網が形成 ・人口増加(特に大里地域) ・地域にタクシー事業者がいる。タクシーを活用したサービスができないか ・観光都市としての強みがある。観光ついでのカフェ。 ・公共交通を専門に扱う部署がある(交通政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地が点在 ・交通結節点となっている市役所周辺に目的地がない ・レンタカーの増加 ・市民の集まる場の欠如(←市民の行き先が分散) ・乗務員の不足 ・道路が狭い、1車線しかない。コストコ開店で交通マヒ。人が増えれば道路にも手を入れる ・Nバスの運転手不足 ・ドライバーとしての魅力の伝え方、運賃の安さも魅力なので、値上げは脅威では ・地域の声を聴く(地域の声がないと施策が進まない) ・モビリティマネジメントの強化(増加する人口への対応)
<ul style="list-style-type: none"> ・コストコ周辺の開発 ・市役所横での複合施設の整備 ・南部東道路の整備と渋滞緩和 ・外国人観光客の増加 ・人口増加、MM教育による公共交通利用促進 ・地価高騰で那覇市から南城市への移転の可能性 ・バスターミナルと複合施設の整備 ・南部東道路と人口増加、都心部との直結、更なる人口増加がないと公共交通の活用も難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市町村でのバスターミナルの整備 ・本島内の限られる輸送資源 ・南城市にバスタの発想があるのか？ ・空港までの実証事業を行うのか。路線・観光バスも乗務員不足 ・那覇から30分なので、タクシーが那覇に流れる。 ・運転手不足

※黒字は第1回座談会での意見を例示

図1 SWOT分析の結果

- 南城市の公共交通の今後の方向性としては、南城市に人口を呼び込むことで、公共交通の充実を図ったり、運賃サービスの検討、路線バスに対する補助のあり方などに関する意見があげられました。
- バス事業者が連携した、他の市町村では出来ない取組の実施や、南城市内で公共交通のモデルケースができないかといった意見もありました。

- 那覇市内から人を引っ張る。人口が増えたら、公共交通のことが考えられる。
- 運賃サービスの検討。行政であるから運賃が安くできる。コミュニティバスは安い運賃で市内をまわり、路線バスの利用につなげてもらうと良い。
- 運行経費に関する補助もあるが、利用者に対する補助も必要ではないか。
- まつりなどで事業者が出展し、公共交通をアピールすることができないか。
- 公共交通で観光施設を訪れた観光客に特典がつくようなサービスができないか。
- タクシーが南城市内で稼げる仕組みをつくる。
- 南城市内にはバス事業者が3社営業しており、南城市も交えて、交通事業者と調整を行い、他の市町村では出来ないことができないか。
- 南城市内で公共交通のモデルケースをつくれぬか。